

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

2018年2月期 決算説明会

U.S.M.Holdings

お客さまと地域 そして時代と結び合う

新しい価値の提供、期待以上の
お客さま満足を目指し
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングスは
地域に根ざした企業として、
常に革新と挑戦を続けます。



2018年4月11日

U.S.M.H 【連結】 (単位：百万円、%)	2017年2月期 (2016年度)		2018年2月期 (2017年度)			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	前期差
営業収益	684,806	102.1	692,248	102.2	101.1	7,442
売上高	670,475	100.0	677,557	100.0	101.1	7,081
売上総利益	189,124	28.2	192,269	28.4	101.7	3,144
営業総利益	203,456	30.3	206,961	30.5	101.7	3,505
販管費	189,136	28.2	192,892	28.5	102.0	3,756
営業利益	14,320	2.1	14,068	2.1	98.2	▲251
経常利益	14,185	2.1	14,188	2.1	100.0	2
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,350	1.1	7,452	1.1	101.4	102

【事業会社別／単体決算概要】

単位：百万円、%

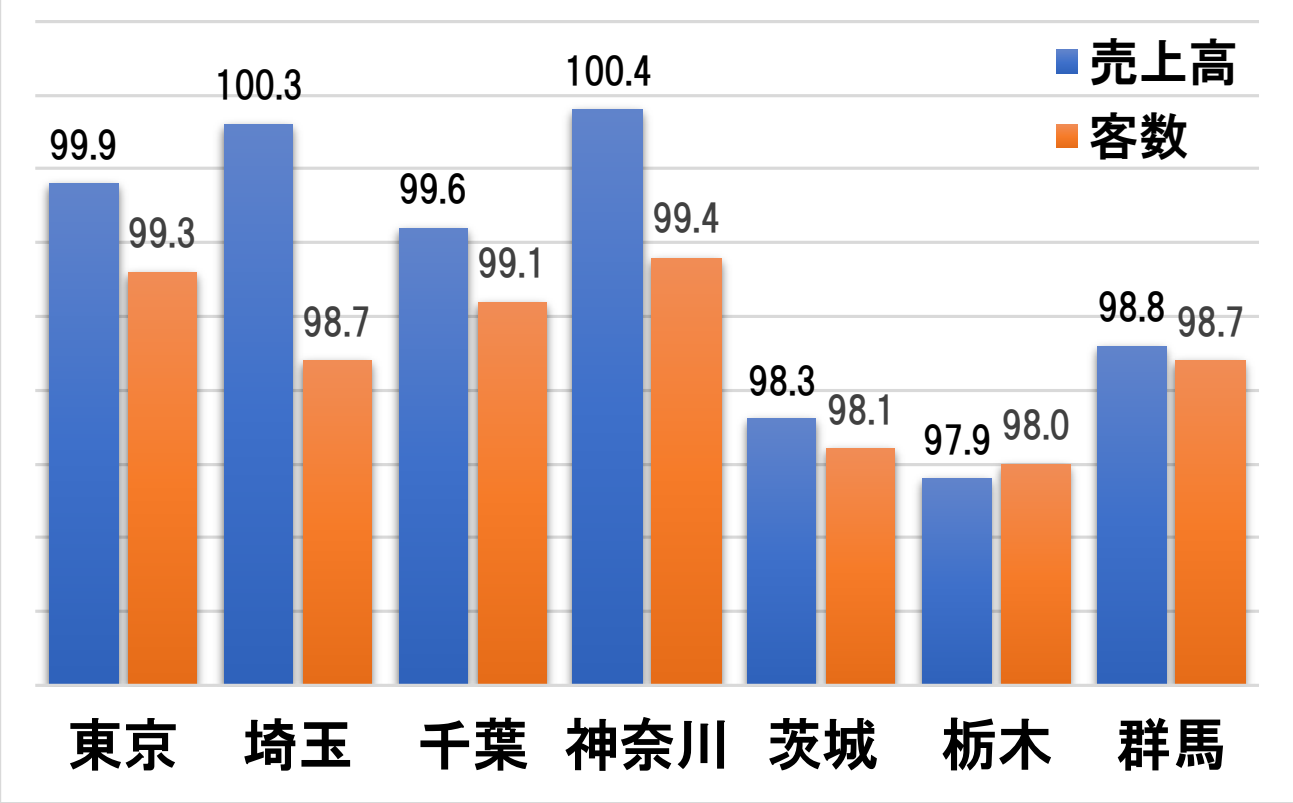
									
	実績	売上比	前年比	実績	売上比	前年比	実績	売上比	前年比
営業収益	375,556	101.9	100.7	269,289	102.9	102.6	43,480	101.2	95.3
営業利益	7,841	2.1	103.4	5,897	2.3	93.9	184	0.4	169.5
経常利益	7,874	2.1	104.6	6,185	2.4	93.4	181	0.4	167.2
純利益	5,424	1.5	152.9	4,085	1.6	114.7	124	0.3	140.4

<既存店売上高>

売上高前年比	2017年度 前提	実 績
USMH3社 計	101.2%	99.4%

<前年比>	既存店	全社
客 数	99.0%	100.3%
客 単 価	100.4%	100.7%
一品単価	100.0%	100.0%

エリア別売上高・客数前年比(既存店)



<部門別売上高実績>

部 門	構成比	前期比
青 果	15.9%	99.3%
鮮 魚	9.1%	98.1%
精 肉	11.0%	104.5%
デ リ 力	11.8%	101.4%
一 般 食 品	52.2%	101.5%
食 料 品 合 計	100.0%	101.1%

※ 構成比は食料品内構成比

<売上総利益率実績>

売上総利益率	2017年度 前提	実 績
USMH連結	28.3%	28.4%

<商品取組実績>

(単位:百万円)

商品関係取り組み	仕入金額
日 雑 ・ 衣 料 品 仕 入 集 約	2,600
メーカー共同企画	19,600
共同調達・共同販促	11,900
共同企画商品・PB商品	165



「eatime」販売実績:160千個

①

生鮮部門強化施策 ●● 売上構成比
46%

客数との相関薄らぐ

- ・既存店の活性化を迅速に
- ・商品改革にもう一步踏み込む

②

商圈規模により売場 ●● ドミナントを
面積を拡張して出店 ●● 形成

想定されてきた成果
に結びつき難い

- ・新たな業態を模索する試行が要求される

③

都心部と外周エリアの格差が顕在化

- ・エリアニーズに立ち戻り、新たなMDやサービスの開発を
- ・出店に関する考え方を再考する時期

④

チャネル多様化の環境変化は急激に進展する

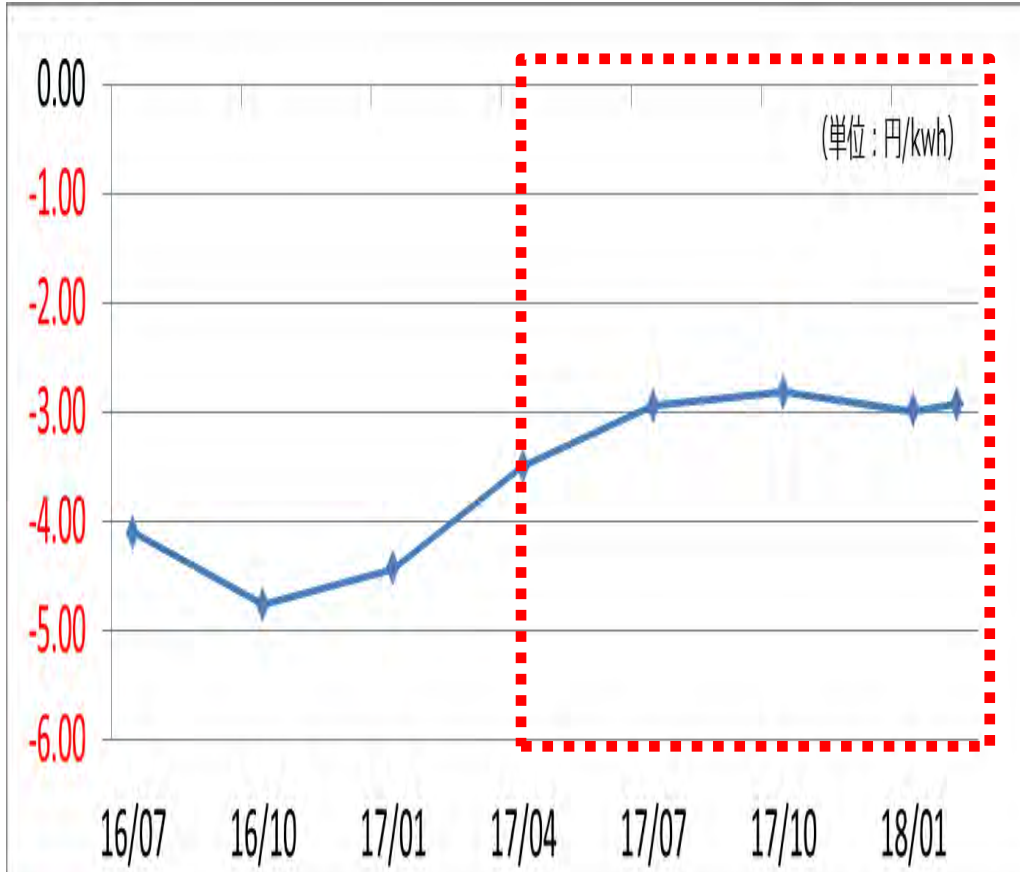
- ・対応は待ったなし

(単位:百万円)

USMH連結	実績	前期比	前期差	<前年比>	全社	既存店
売上高	677,557	101.1%	7,081	総労働時間	102.5%	99.0%
販管費	192,892	102.0%	3,756	社会保険料	107.7%	106.0%

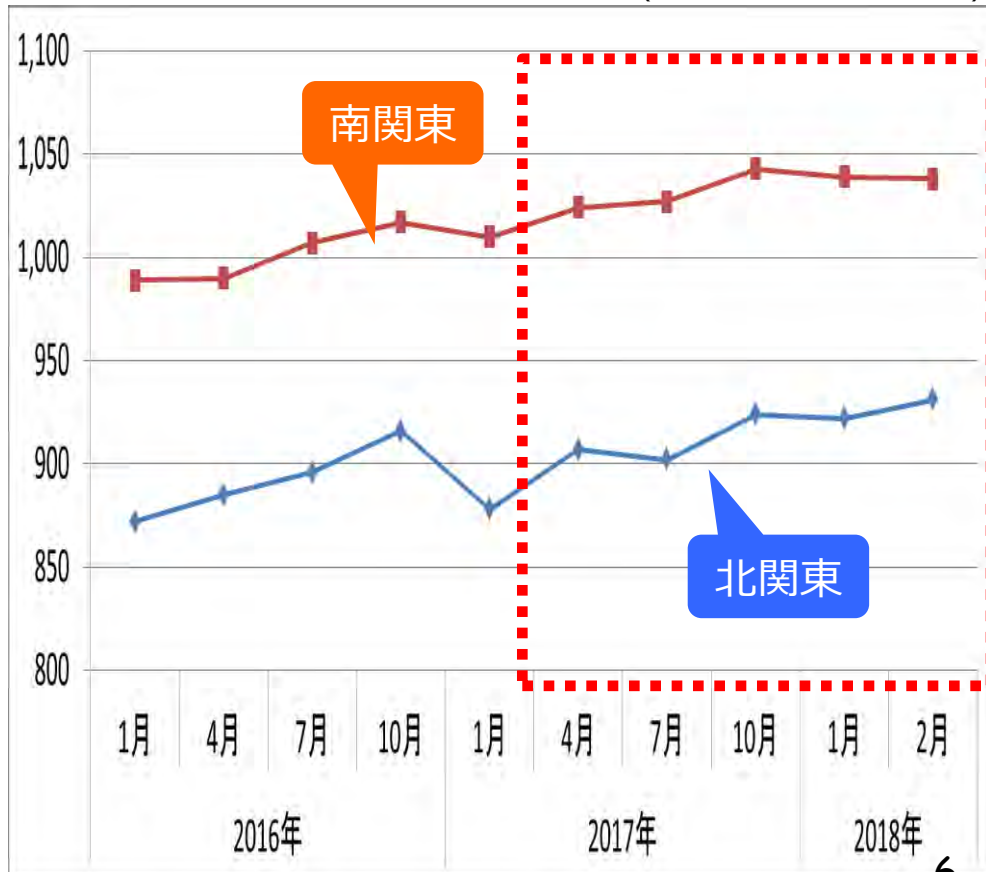
<燃料調整費推移>

(出典：東京電力)



<エリア別平均時給推移>

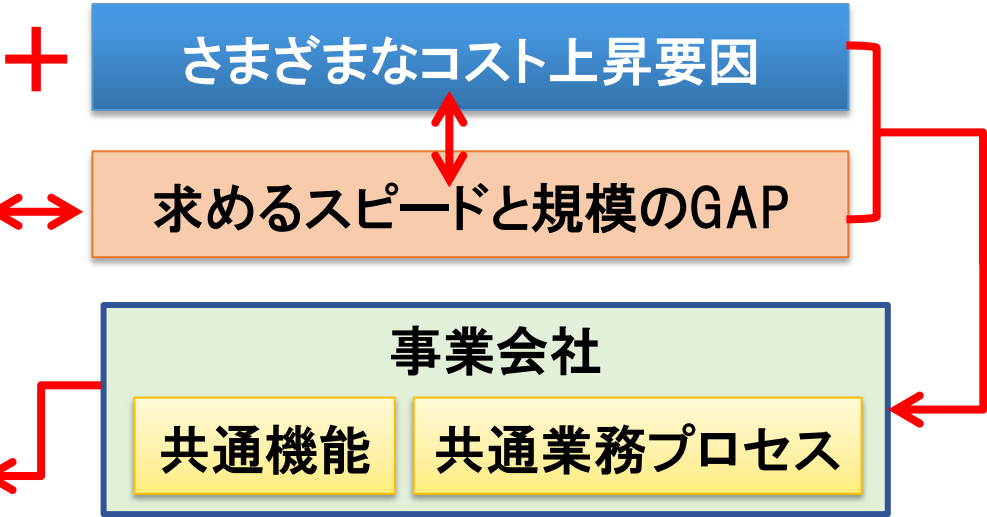
(出典：ジョブズリサーチセンター)



(単位:百万円)

USMH連結	実績	前期比	前期差	<前年比>	全社	既存店
売上高	677,557	101.1%	7,081	総労働時間	102.5%	99.0%
販管費	192,892	102.0%	3,756	社会保険料	107.7%	106.0%

2017年度	実績
コスト構造改革PT	687(百万円)
ICT改革PT	181(百万円)
合計	868(百万円)



①

HLDに統合 ⇒ 抜本的な構造改革
HLDのリーダーシップが求められる

②

・AI、ロボティクス、IoT等の技術導入
・PC機能の拡張、規模的拡大

⇔

省人化、省力化ソリューション
実験検証

外部企業とのパートナーシップで迅速に、トライ＆エラーを繰り返す

(単位:百万円)	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
2016年度	14,320	14,185	7,350
2017年度	14,068	14,188	7,452
前 期 差	▲251	2	102

2017年度 前期比較

営業利益	+	・売上総利益 3,144	+	・営業外費用 299	当期純利益	+	・税効果企業分類変更 2,100
		・営業収入 360					・引当金設定に伴う税効果認識 490
	-	・販管費 3,756	-	・営業外収益 45		-	・固定資産売却益等 1,068
							・事業整理損失引当金繰入 1,373

【2017年度 課題総括】

- ①既存店の活性化による店舗収益の改善
- ②マーケティングと商品改革の推進
- ③新業態開発
- ④出店戦略の検討
- ⑤デジタルチャネル開発
- ⑥業務統合による効率化とコストダウン
- ⑦プロセスセンター、IT活用等による省人化、省力化

【2018年度 USMH方針】

自主自律の経営を尊重しつつ、
全体最適視点で「統合」領域を特定し、
「組織」「権限」「予算」をHLDに切出し、
シナジー創出の迅速化を図る

<統合領域>

- ・機能統合領域
- ・情報共有領域
- ・新機能領域

機能統合領域

仕入(一部) IT 資材調達 会計(会計センター)

情報共有領域

物件開発

新機能領域

新業態開発 SCM 専門人材育成 PC機能検討 デジタル事業

U.S.M.H新設部署

仕入統合
推進部

資材調達部

財務経理部

ICT開発
運用部

業態開発部

デジタル事業
企画部

改革P T

商品改革 P T

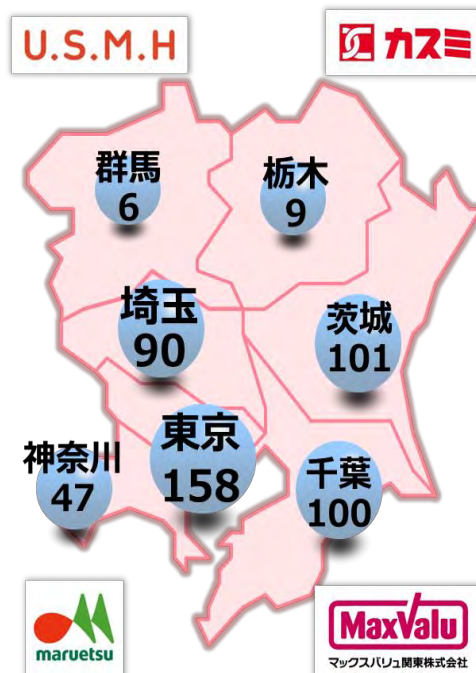
コスト構造
改革 P T

物流改革 P T

2018年度シナジー計画高 1 6 億円

グループ2017年度末店舗数：511店舗

※中国江蘇省2店舗は含んでおりません



MP:マルエツ プチ
FS:フードスクエア

グループ 2018年度 計画

	改装店舗	新規出店
マルエツ	46	10
カスミ	16	10
MV関東	4	0
合計	66	20

単位：百万円

U.S.M.Holdings		営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
連 結	2019年2月期 業績予想	720,000	14,700	14,800	6,100
	2018年2月期	692,248	14,068	14,188	7,452
	前期比	104.0%	104.5%	104.3%	81.9%

		営業収益	営業利益	経常利益
 単体	2019年2月期 (予想)	387,000	8,000	7,900
	2018年2月期	375,557	7,841	7,875
 単体	2019年2月期 (予想)	285,700	6,800	7,000
	2018年2月期	269,290	5,898	6,186
 単体	2019年2月期 (予想)	43,800	200	185
	2018年2月期	43,480	184	181

U.S.M.Holdings